

リリースノート

HSP Update Tool V5.32

著作権

本書のデータを ETAS GmbH からの通知なしに変更しないでください。ETAS GmbH は、本書に関してこれ以外の一切の責任を負いかねます。本書に記載されているソフトウェアは、お客様が一般ライセンス契約または単一ライセンスをお持ちの場合に限り使用できます。ご利用および複製はその契約で明記されている場合限り、認められます。

本書のいかなる部分も、ETAS GmbH からの書面による許可を得ずに、複製、転載、伝送、検索システムに格納、あるいは他言語に翻訳することは禁じられています。

© Copyright 2024 ETAS GmbH, Stuttgart

本書で使用する製品名および名称は、各社の(登録)商標またはブランドです。

目次

1. はじめに	4
1.1. 定義と略語	4
1.2. 表記上の規則	4
1.3. ユーザ向けドキュメント	4
2. 製品定義	5
2.1. 機能の概要	5
2.2. 製品の概要	5
2.2.1. PC のシステム要件	5
2.2.2. ソフトウェア要件	6
2.2.3. 制限事項	6
2.2.4. その他	6
2.3. 製品の入手	6
2.3.1. サードパーティ製ソフトウェア	6
2.4. インストール	6
2.4.1. インストールのヒント	6
2.5. ライセンス	7
3. 変更点	7
3.1. 新機能	7
3.2. 以前のリリースとの互換性	7
3.3. 修正された不具合	7
3.4. Known Issue Reports (障害レポート)	7
3.5. 既知の不具合	8
3.5.1. ハードウェアに関連した不具合	8
4. 使用上のヒント	8
4.1. 重要なお知らせ	8
4.2. ダウンデート	8
4.3. イーサネットインターフェイスの設定	9
4.4. ES1130 を ES4300 システムのマスタコントローラとして使用する場合	9
4.5. LABCAR 環境でのスレーブカードのアップデート	9
4.6. ES910 と接続された ES-DaisyChain システムのアップデート	9
5. お問い合わせ先	10

1. はじめに

1.1. 定義と略語

用語/略語	定義
EHI	ETAS Help Desk International
HSP	Hardware Service Pack
HSP-UT	HSP-Update Tool
HW	Hardware
KIR	Known Issue Report – リリース後に、深刻な問題が生じた場合は、ETAS は Known Issue Report を発行し、影響を受けるお客様に情報をお届け致します。Known Issue Report については、ETAS のウェブサイトでご覧になれます。 http://www.etas.com/kir
PR	Problem Report
SW	Software

1.2. 表記上の規則

本書は以下の規則に従って表記されています。

ファイル→開くを選択します。	メニューコマンドは、 太字 で表記します。
OK をクリックします。	ボタンは 太字 で表示します。
<ENTER>を押下します。	キーボードの各キーは<>で囲んで表示します。
“ファイルを開く”ダイアログボックスが表示されます。	プログラムウィンドウ、ダイアログボックス、入力フィールド等のタイトルは、“ ”で囲んで表記します。
setup.exe ファイルを選択します。	ファイル名、プログラムコード等の英文字のみのテキスト文字列は、Courier フォントで表記します。

1.3. ユーザ向けドキュメント

HSP-UT のユーザ向けドキュメントは、PDF 形式で提供されており、[ダウンロードセンター - ETAS](#) から、入手いただけます。

2. 製品定義

2.1. 機能の概要

HSP (Hardware Service Pack、ハードウェアサービスパック) は、ETAS ハードウェアのファームウェアを管理するための製品です。本製品は以下の 3 つのコンポーネントから構成されます。

- HSP アップデートツール("HSP-UT")
- HSP サービスパック
- LABCAR-FWP

「HSP アップデートツール」は、ファームウェアのアップデートを実行するためのユーザインターフェイスです。本ツールにより、ETAS ハードウェアを簡単にアップデートでき、現在ハードウェアに書き込まれているファームウェアの詳細なバージョン情報を確認することもできます。HSP サービスパックと LABCAR-FWP は、各ハードウェア用のファームウェア(つまりハードウェアに実際にダウンロードされるファイル)で構成されています。

本リリースノートは上記の「HSP アップデートツール」について記述するものです。「サービスパック」のリリースノートは HSP アップデートツール上に直接表示されます。

2.2. 製品の概要

2.2.1. PC のシステム要件

必要最低条件

ハードウェア	2.0 GHz デュアルコアプロセッサまたはその同等品 2 GB RAM ネットワークアダプタ VGA グラフィックボード(1280×1024 の解像度、128 MB RAM)
サポート OS	Windows® 10 – 64bit, Windows® 11, Windows Server 2019, Windows® Server 2022
ディスクの空き容量	2 GB

推奨条件

ハードウェア	3 GHz クアッドコアプロセッサまたはその同等品 4 GB RAM ネットワークアダプタ VGA グラフィックボード(1280×1024 の解像度、128 MB RAM)
オペレーティングシステム	Windows® 10– 64bit 以上
ディスクの空き容量	2 GB 以上

2.2.2. ソフトウェア要件

すべての必要なソフトウェアは HSP のインストールパッケージに含まれています。

2.2.3. 制限事項

HSP V9.0.0 以降のバージョンは Windows2000 以前のバージョンには対応していません。

HSP V10.6.0 以降のバージョンは Windows® XP 以前のバージョンには対応していません。

HSP V13.4.0 以降のバージョンは Windows® 7 以前のバージョンには対応していません。

HSP V14.0.0 以降のバージョンは Windows® 8 以前のバージョンには対応していません。

2.2.4. その他

HSP アップデートツールは HSP パッケージの一部です。HSP パッケージには HSP アップデートツールと HSP バージョンに属するファームウェアが含まれます。HSP または LABCA-FWP のバージョンは、HSP アップデートツール内で選択できます。

インストール後は、デスクトップアイコンをダブルクリックすると HSP アップデートツールが起動します。

2.3. 製品の入手

HSP は、ETAS の [ウェブサイトダウンロードセンター](#)からのダウンロードにより提供されます。

2.3.1. サードパーティ製ソフトウェア

HSP で使用されているサードパーティ製ソフトウェアとそのライセンスについては、下記のファイルを参照して下さい。

OSS_Attributions_HSP_Update_Tool.pdf

このファイルを参照するには、HSP アップデートツールのメニューより、ヘルプ→オープンソースソフトウェアについて...を選択して下さい。新しくウィンドウが表示されるので、そのウィンドウ内のファイルを参照してください。各ファームウェアで使用されているサードパーティ製ソフトウェアとそのライセンスについても参照することができます。

2.4. インストール

HSPをインストールするには、

- HSP のインストールパッケージの中の setup.exe をダブルクリックしてください。
- インストールウィザードが表示した指示に従って作業を進めてください。

2.4.1. インストールのヒント

特記事項はありません。

2.5. ライセンス

HSP アップデートツールの使用に、ライセンスは不要です。

3. 変更点

この章では、HSP アップデートツールの変更点と既知の不具合について記述します。

3.1. 新機能

この項では、HSP アップデートツールの本バージョンで提供される新機能および拡張機能について説明します。

- 2チャンネルの LIN インターフェースおよびイーサネット接続を備えた ES134.1 をサポートしました。
- ギガビット車載インターネット TAP を備えた ES570.1 をサポートしました。
- PCIe インターフェースをサポートした XETK-S16.0D をサポートしました。
- iLinkRT V3 1 ミリ秒タイミングをサポートした MCE-PC(Linux 版)をサポートしました。

3.2. 以前のリリースとの互換性

互換性に関する特記事項はありません。

3.3. 修正された不具合

HSP アップデートツールの本バージョンでは 以下の不具合が解決されています。

項番	タイトル
772687	HSP: Firmware version is not available for ES582.2 and ES584.2 in INCA after Online Firmware Check HSP: INCA で自動ファームウェアチェック後に ES582.2 および ES584.2 のファームウェアのバージョンが不可になる

3.4. Known Issue Reports (障害レポート)

製品の問題が生じた場合は、ETAS は障害レポート(KIR)を発行し、インターネット上に掲載します。障害レポートには、技術的な影響と対処状況に関する情報が含まれます。したがって、製品の使用開始前に、各 ETAS 製品の KIR の内容を確認し、関連する注意事項を理解する必要があります。

Known Issue Report (KIR)については、ETAS のウェブサイトでご覧になれます。

<http://www.etas.com/kir>

3.5. 既知の不具合

この項では、HSP アップデートツールの既知の不具合について説明します。

3.5.1. ハードウェアに関連した不具合

項番	説明
88418	<p>Communication with the LABCAR RTPC web-interface disturbs the update of LABCAR-HW via the LABCAR RTPC system. All web-browsers communicating with the RTPC web-interface shall therefore be closed before starting the HSP Update Tool.</p> <p>LABCAR RTPC ウェブインターフェイスの接続をしている状態において、LABCAR RTPC システム経由での LABCAR ハードウェアアップデートが出来ません。HSP アップデートツールを起動する前に、RTPC のウェブインターフェイスと接続している全てのウェブブラウザを終了してください。</p>

4. 使用上のヒント

4.1. 重要なお知らせ

他のイータスソフトウェア製品を干渉しないよう、ファームウェアの更新が完了したら HSP アップデートツールを必ずしてください。

4.2. ダウンデート

「ダウンデート」とは、ハードウェアのファームウェアを古いバージョンで上書きすることを指します。ダウンデートを行うには、所定の HSP バージョンが必要となります。一部の製品では、ダウンデート可能な HSP バージョンについて制限があります。

4.3. イーサネットインターフェイスの設定

ES610、ES611、ES620、ES650 は速度 10Mbit、半二重通信、それ以外の ETAS ハードウェアは速度 100Mbit、全二重通信が標準通信モードとして使用されます。

イーサネットインターフェイスの通信速度と双方向通信の設定をプロパティで”Auto”に設定してご使用ください。

イーサネットについては、通信の切断後に素早く再接続が行われるようにインターフェイスを設定しておく必要があります。アップデート処理の実行時、HSP アップデートツールは ETAS ハードウェアに対し数回リセットを行うため、そのたびにイーサネット接続が切断され、処理の遅れが発生する可能性があります。このような状態を防ぐためにはイーサネット接続を短時間で復帰させることが必要ですが、そのための対策として、例えば Xircom イーサネットカードの場合、「Link integrity」の設定を OFF にする、といったことが可能です。

4.4. ES1130 を ES4300 システムのマスタコントローラとして使用する場合

ES4300 システム(LABCAR VXI ハードウェア)内のスレーブボードをアップデートする際は、マスターボード(ES1130 など)はスロット番号 1(システム左端のスロット)に挿入しておく必要があります。

4.5. LABCAR 環境でのスレーブカードのアップデート

LABCAR VME/VXI システムにおいてハードウェア検索でスレーブカードが見つからない場合があります。空プロジェクトを ES1130 にフラッシングすることでそれを回避できる場合があります。実行するにはメニューから”Flash Empty Project to ES1130”から空のプロジェクトを選択し”OK”を押してください。この機能は HSP UT ウィンドウで LABCAR 環境が選択されている場合のみ有効となります。

4.6. ES910 と接続された ES-DaisyChain システムのアップデート

ES910 の IO ポートを介して ES-DaisyChain システムを HSP V9.4.0 にてアップデートを行うためには、その前に ES910 がアップデートされている必要があります。

ファームウェアバージョンを HSP V9.3.1 以前のものにダウンデートしたい場合は、最初に ES-DaisyChain システムのダウンデートを行い、その後で ES910 のダウンデートを行うという 2 ステップが必要となります。

5. お問い合わせ先

各地域の営業所、テクニカルサポートチーム、製品ホットラインの詳細は、ETAS ウェブサイトをご覧ください。

ETAS 支社 www.etas.com/ja/contact.php

ETAS テクニカルサポート www.etas.com/ja/hotlines.php